令　和　元　年　度　事　業　報　告　書

1　基本財産の造成状況

（単位：円）

区　　分		金　　額　（円）
行政	岩　手　県	１０，０００，０００
	市　町　村	１０，０００，０００
	小　計	２０，０００，０００
民間	学校法人岩手医科大学	５，０００，０００
	一般社団法人岩手県医師会	５，０００，０００
	小　計	１０，０００，０００
合　計		３０，０００，０００

2　基本財産の運用状況

（単位：円）

運用先	種　別	当期末残高	基本財産運用収入	運用実績（年利換算）
三菱ＵＦＪモルガンスタンレー証券	利付国債(20 年)(2032/6/20)	19,839,848	333,705	1.68%
三菱ＵＦＪモルガンスタンレー証券	利付国債(10 年)(2020/12/20)	10,005,685	112,662	1.12%
岩手銀行雫石支店	預金	154,467	0	0.00%
合　計		30,000,000	446,367	1.48%

3　庶務事項

(1)　役員の構成　　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

役　職	氏　名	備　考
理事長	大井　清文	
副理事長	小川　彰	学校法人岩手医科大学理事長
〃	小原　紀彰	一般社団法人岩手県医師会長
専務理事	八重樫　一洋	いわてリハビリテーションセンター副センター長（事）
理　事	熊谷　泰樹	岩手県医療局長
〃	佐藤　義朝	いわてリハビリテーションセンター副センター長（医）
〃	主濱　了	岩手県市長会代表（滝沢市長）
〃	高橋　昌造	岩手県町村会代表（矢巾町長）
〃	野原　勝	岩手県保健福祉部長
監　事	佐々木　政徳	公認会計士
〃	村井　淳	岩手県市長会事務局次長

(2)　事務局の構成　　（令和２年３月 31 日現在）

役　職	氏　　名	備　　考
事務局長	五 日 市　治	業務推進部長
事務局次長	工 藤　一 也	業務推進部副部長
書　　記	村 上　正 晃	業務推進課長(総務担当)
〃	山 本　康 典	業務推進課長(医事担当)
〃	高 橋　正 好	業務推進課長(予算経理担当)
〃	岩　渕　　鋼	主　任
〃	矢田森　遥香	主　事

(3)　理事会の開催

ア　第 13 回理事会

日時　令和元年６月７日（金）13 時 25 分から

場所　北ホテル　２階「秋桜」

議事　議案第１号　平成 30 年度事業報告及び収支決算案について

議案第２号　平成 31 年度県出資等法人運営評価について

議案第３号　職員就業規程の一部改正について

議案第４号　事務代決専決規程の一部改正について

議案第５号　令和元年度定時評議員会の招集について

イ　第 14 回理事会

日時　令和２年３月 16 日(月)13 時 30 分から

場所　エスポワールいわて　３階特別ホール

議事　議案第１号　令和元年度収支補正予算案について

議案第２号　令和２年度事業計画案及び収支予算案について

議案第３号　県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第４号　職員就業規程の一部改正について

議案第５号　組織規程の一部改正について

議案第６号　令和元年度臨時評議員会の招集について

(4)　評議員会の開催

ア　第 13 回評議員会

日時　令和元年６月 26 日（水）13 時 25 分から

場所　エスポワールいわて　３階特別ホール

議事　議案第１号　平成 30 年度事業報告及び収支決算案について

議案第２号　平成 31 年度県出資等法人運営評価について

議案第３号　理事９名の選任について

議案第４号　評議員１名の選任について

イ　第 14 回評議員会

日時　令和２年３月 25 日(水）13 時 25 分から

場所　ホテルニューカリーナ　２階「アイリス」

議事　議案第１号　令和元年度収支補正予算案について

議案第２号　令和２年度事業計画案及び収支予算案について

議案第３号　県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

４　事業の実施状況

（１）　リハビリテーション医療事業

Ａ　入退院患者の状況

ア　一日平均入院患者数　　（単位：人）

令和元年度	79.5
平成 30 年度	80.7
増　　減	▲1.2

イ　患者数　　（単位：人）

平成 30 年度末 入院患者数	令和元年度 入院患者数	令和元年度 退院患者数	令和元年度末 入院患者数
80	345	343	82

ウ　平均入院日数　　（単位：日）

	男性	女性	合計
令和元年度	90.3	78.9	86.8
平成 30 年度	88.3	91.9	89.5
増　　減	2.0	▲13.0	▲2.7

エ　退院先

令和元年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数（人）	267	44	32	343
構成割合　（%）	77.9	12.8	9.3	100

＜参考＞

平成 30 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数（人）	260	37	35	332
構成割合　（%）	78.3	11.1	10.6	100

オ　入院患者の疾患別内訳

令和元年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数　（人）	224	24	48	24	25	345
構成割合（%）	64.9	7.0	13.9	7.0	7.2	100

＜参考＞

平成 30 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数　（人）	209	29	62	22	5	327
構成割合（%）	63.9	8.9	19.0	6.7	1.5	100

カ　主な保健医療圏別患者数

令和元年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数　（人）	158	37	37	17	17	17	45	17	345
構成割合（%）	45.8	10.7	10.7	4.9	4.9	4.9	13.0	4.9	100

※その他の内訳：久慈３人、両磐６人、県外８人

＜参考＞

平成 30 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数　（人）	152	48	33	17	15	9	38	15	327
構成割合（%）	46.5	14.7	10.1	5.2	4.6	2.7	11.6	4.6	100

※その他の内訳：久慈３人、両磐６人、県外６人

キ　平均年齢　（単位：歳）

令和元年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	61.9	66.2	63.3

＜参考＞　（単位：歳）

平成 30 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	60.0	64.3	61.2

B　外来患者の状況

令和元年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数（人）	3,838	610	60	87	729	205	167	0	1,858

＜参考＞

平成 30 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数（人）	4,151	682	44	125	943	226	231	0	2,251

C　患者数の状況

ア　入院患者及び常設診療科外来患者数　（単位：人）

区　分		令和元年度	平成 30 年度	増　減	備　考
入院	延患者数	29,105	29,447	▲342	
	1 日平均患者数	79.5	80.7	▲1.2	
外来	延患者数	3,838	4,151	▲313	
	1 日平均患者数	16.0	17.0	▲1.0	

イ　非常設診療科外来患者　（単位：人）

区　分	令和元年度	平成 30 年度	増　減	備　考
泌尿器科	610	682	▲72	
耳鼻咽喉科	60	44	16	
眼　科	87	125	▲38	
歯　科	729	943	▲214	
循環器内科	205	226	▲21	
糖尿病代謝内科	167	231	▲64	
精神科	0	0	0	休診中

D　訪問事業

令和元年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数　（人）	40	6
延訪問回数　（回）	2,430	306

＜参考＞

平成 30 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数　（人）	43	9
延訪問回数　（回）	2,542	332

E　通所事業

令和元年度	通所リハビリ
実利用者数　（人）	14
延利用回数　（回）	485

＜参考＞

平成 30 年度	通所リハビリ
実利用者数　（人）	8
延利用回数　（回）	276

Ｆ　市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

令和元年度	139 件
平成 30 年度	133 件

（２）　地域支援事業

Ａ　市町村支援事業

要請の市町村への支援

① 雫石町地域包括ケア・多職種連携会議、自立支援サポート会議等への出席
　派遣回数１５回、派遣職員数延４２人

Ｂ　地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数４回、派遣職員数延３０人　被指導者数延１１７人

Ｃ　リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年間４回ホームページ上に掲載し発信した。

Ｄ　広域支援センター支援事業

地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を１回開催（８月２９日）
広域支援センター・保健所等との連絡調整、話題提供、研修会への講師派遣等
　９圏域、１４回、従事職員数延３２人

Ｅ　介護予防研修会等

要請の市町村圏域等への支援

① 盛岡市地域包括支援センター・介護支援センター職員研修会講師派遣
　派遣回数１回、派遣職員数１人、被指導者数４８人
② 雫石町地域ケア個別会議に係る説明会・講演会講師派遣
　派遣回数１回、派遣職員数１人、被指導者数４８人
③ 雫石町生きがい健康づくり事業「イケてるおやじ＆マダム学園」講師派遣
　派遣回数１回、派遣職員数１人、被指導者数３０人
④ 雫石町・西和賀町主催のシルバーリハビリ体操３級指導者養成事業への職員派遣
　派遣回数６回、派遣職員数１２人、養成者数１２人
⑤ 岩手県リハビリテーション専門職介護予防従事者連絡会議講師派遣
　派遣回数１回、派遣職員数１人、被指導者数５９人

Ｆ　高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

・相談支援コーディネーター４名及び地域支援コーディネーター４名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。
　相談件数延べ１，１９５件、実人数１０３名
・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
　１回開催、出席者数延べ３１名
・具体的な支援手法の検討を行うためのワーキンググループの開催
　１回開催、出席者数延べ１５名
・支援の普及に向けた研修会の開催
　３回開催、参加者数延べ１１７名

・普及啓発を目的に当時者・家族を中心とした交流会を開催
　１回開催、参加者数延べ８１名
・地域における支援体制整備のための支援
　県内８圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。
・事業周知のためのＰＲ・広報活動の実施
　ホームページやメールニュースを通じて理解と支援の拡大を図った。

Ｇ　シルバーリハビリ体操指導者養成事業
14 市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。
・１級指導者養成講習会（４日間）
　開催回数１回、従事職員数延４３人、養成数１２人
・２級指導者養成講習会（４日間）
　開催回数２回、従事職員数延４７人、養成数４１人
・３級指導者養成講習会（６日間）
　開催回数３回、従事職員数延９９人、養成数５４人
・フォローアップ、通いの場の評価等
　開催回数５回、従事職員数延１５人、被指導者数１８４人
・指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会
　開催回数１回、従事職員数１３人、参加者数２５４人

Ｈ　補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）
①巡回相談

担当医師名	相談回数（開催地）	補装具相談件数（非該当を除く）						
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	その他	計
村上英恵	5 回(宮古市、二戸市、遠野市、久慈市)	5 件	52 件	68 件	26 件	0 件	0 件	151 件
阿部深雪	5 回(宮古市、二戸市、奥州市)	3 件	39 件	88 件	6 件	0 件	0 件	136 件
計	10 回	8 件	91 件	156 件	32 件	0 件	0 件	287 件

②来所相談

担当医師名	相談回数（開催地）	補装具相談件数（非該当を除く）						
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	その他	計
佐藤義朝	11 回（盛岡市：岩手県福祉総合相談センター）	3 件	120 件	88 件	40 件	7 件	0 件	258 件

（３）　教育研修事業
Ａ　保健福祉等高齢者施設職員等研修会
・呼吸リハビリテーション研修会（１日間）　開催回数１回、受講者数２８人
・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（２日間）　開催回数１回、受講者数延６８人
・車いすシーティング研修会（１日間）　開催回数１回、受講者数３０人

Ｂ　患者家族教室
・お口元気教室、医師講話会、リハビリ教室、栄養教室　開催回数４７回、参加者数延３２６人

Ｃ　学生受け入れ
医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ
延２１校、実２２５人(延１，２６４人)

Ｄ　リハビリテーションセンター体験学習
ふれあい看護体験　２回、２５人、インターンシップ　１回、２人、サマーセミナー　１回、３人
杏林大学保健学部理学療法学科見学実習　１回、６３人

Ｅ　講師派遣
学生講義、施設職員対象研修等　４４回、受講者数延２，４８７人

Ｆ　院内職員研修会
開催回数１４回、参加者数延１，３４８人（うちＤＶＤ受講４２６人）
①４月２４日　テーマ「医療安全①～一次救命処置について」
講師　診療科長　森潔史
②５月１５日　テーマ「いわてリハビリテーションセンターの今後のあり方」
講師　理事長　大井清文
③５月２９日　テーマ「職員を元気にするメンタルヘルス～ストレスコーピング」
講師　岩手産業保健総合支援センター　産業保健相談員　藤井由里
④６月１２日　テーマ「ＦＩＭ研修①～採点のポイント・演習～セルフケアについて」
講師　作業療法士　長山悦子、阿部栞、木附沢一茂
⑤６月２６日　テーマ「医療安全②～医療安全管理者養成研修会報告」
講師　主任看護師　川崎美香子、主任作業療法士　山本晶子
⑥７月１０日　テーマ「ＦＩＭ研修②～採点のポイント・演習～排泄・移乗・移動について」
講師　作業療法士　木附沢一茂
⑦７月３１日　テーマ「院内感染①～手指衛生について」「海外研修報告」
講師　臨床検査技師　川村将史、理学療法科長　佐藤英雄
⑧８月２８日　テーマ「医療安全③～『薬事関連』、『院内ガスについて』」
講師　薬剤科長　伊藤禎人、第一開明株式会社　下村浩二
⑨９月１１日　テーマ「ＦＩＭ研修②～採点のポイント・演習～認知について」
講師　作業療法士　阿部栞
⑩９月２５日　テーマ「臨床倫理～ＡＣＰについて」
講師　中津川病院　医療福祉相談員　菊池麻衣子
⑪１０月３０日　テーマ「身体にかかる圧の影響と対策」
講師　株式会社モルテン　田原大輔
⑫１１月２０日　テーマ「院内感染②～感染対策～インフルエンザ・ノロウイルスを中心に」
講師　岩手県立病院　感染管理認定看護師　外舘善裕
⑬１２月２５日　テーマ「個人情報の保護について」
講師　業務推進部　業務推進課長　山本康典
⑭１月２９日　テーマ「接遇について」
講師　株式会社ａｉびじねす　代表取締役　中村夢美子

Ｇ　普及啓発
①視察者に対するリハビリテーションの普及啓発
民間団体等のセンター視察対応
令和元年度　１団体、28 人
※平成 5 年 10 月～令和 2 年 3 月累計　延べ 864 団体、16,640 人
②いわてリハビリテーションフォーラム
一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発
開催日　令和元年１２月１日（日）　場所　アイーナ　来場者数３４８人

（４）　調査研究事業
医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

Ａ　研究発表業績

ア　診療部

（医局）

１．VE 検査で認める喉頭蓋の咽頭後壁接触所見と嚥下障害の重症度との関係
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会　兵庫県神戸市　2019 年 6 月 13 日
〇佐藤義朝、森潔史、大井清文、村上英恵、阿部深雪、
岩手医科大学･リハビリテーション科　西村行秀

２．重度嚥下障害における完全側臥位法の適応と実践
第 4 回岩手神経内科症例研究会　岩手県盛岡市　2019 年 6 月 15 日
〇佐藤義朝、森　潔史、大井清文

３．リハビリ中に精神症状が出現し、フェリチンの減少を伴った神経疾患の 2 例
第 46 回日本リハビリテーション医学会東北地方会　福島県福島市　2019 年 8 月 31 日
〇大井清文、佐藤義朝、森　潔史、村上英恵、村田深雪
岩手医科大学･リハビリテーション医学科、西村行秀

４．重複障害を有する重度嚥下障害に対し、完全側臥位法により 3 食自力摂取が可能となった 1 例
第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会　新潟県新潟市　2019 年 9 月 6 日
〇佐藤義朝、大井清文、機能回復療法部　女鹿清香、診療部　髙橋静恵

５．施設でもできる！　嚥下障害の評価と新しい治療アプローチ～完全側臥位法の実践～
令和元年度口腔ケア従事者研修会　岩手県盛岡市　2019 年 10 月 11 日
〇佐藤義朝

６．岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による平成 29 年度までの 3 年間の指導者の活動の拡がりと課題
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会　兵庫県神戸市　2019 年 6 月 15 日
〇大井清文、佐藤義朝、森　潔史、阿部深雪、村上英恵、
岩手医科大学附属病院･リハビリテーション医学科　西村行秀

７．高校在学中に受傷した脊髄損傷患者が留年せずに復学できた 2 症例
第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会　兵庫県神戸市　2019 年 6 月 14 日
〇村上英恵、大井清文、佐藤義朝、森　潔史、阿部深雪
岩手医科大学附属病院･リハビリテーション医学科　西村行秀

（地域・在宅支援科）

８．農業への復職を目指した脊髄損傷の一例～玄関の先にある畑へ～
第 6 回日本地域理学療法学会学術大会、京都府京都市　令和 1 年 12 月 13～15 日
〇高階欣晴

イ　看護部

９．退院を目指す全失語患者の主介護者の思いを引き出すための交換ノートを用いた効果
リハビリテーション・ケア合同研究大会 in 金沢 2019　石川県金沢市 2019 年 11 月 21～22 日
〇古澤歩夢、後藤由美、上斗米律子、大井清文、中村令子

ウ　医療連携部

１０．就労意向のある方への支援に関する研究
～当センターを退院した 7 名の語りから MSW の役割を考察する～
第 27 回日本社会福祉士会・全国社会福祉士学会 茨城県つくば市 2019 年 6 月 2 日
〇後藤敦博、上田大介、阿部泰子、青山美音、石鉢みづほ、巣内洋肇

１１．高次脳機能障害者支援ツール「高次脳機能障がいカルタ」を通じた今後の普及活動に関する一考察
令和元年度第 32 回保健福祉環境行政セミナー 岩手県盛岡市　2020 年 2 月 7 日
〇大江みづほ、阿部深雪、八重樫一洋、上田大介、吉田賢史、後藤敦博、村上敏昭、
村田美歩

エ　機能回復療法部

（理学療法科）

１２．当センターにおける片側大腿切断者の歩行速度の経時的変化
－退院時と現在の歩行速度の比較・検討－
第 35 回日本義肢装具学会学術大会　宮城県仙台市　2019 年 7 月 13～14 日
○村上敏昭、山下浩樹、関公輔、佐藤英雄

１３．下腿切断者における膝歩き動作と義足歩行の運動力学的検証
第 37 回東北理学療法学術大会　福島県福島市　2019 年 9 月 14～15 日
○村上敏昭、小野寺一也、関公輔

１４．誤嚥性肺炎後廃用症候群を来した症例に対する一考察
第 37 回東北理学療法学術大会　福島県福島市　2019 年 9 月 14～15 日
○千葉なつ美、佐藤義朝、中村一葉、小野寺一也、大井清文

１５．自立歩行を獲得した軸索型ギラン・バレー症候群の一例
第 21 回岩手県理学療法士学術大会　岩手県盛岡市　2019 年 9 月 22 日
○江口舞人、関公輔、佐藤義朝（診療部）

１６．脳卒中片麻痺患者における早期歩行練習が自立歩行の獲得に与えた影響
第 21 回岩手県理学療法士学術大会　岩手県盛岡市　2019 年 9 月 22 日
○柳葉美優、関公輔、小野寺一也

１７．腕神経叢損傷に伴う上肢単麻痺が歩行に与える影響
－麻痺側上肢への補助具が歩行に与える運動力学的検証－
第 7 回日本運動器理学療法学会学術集会　岡山県岡山市　2019 年 10 月 5～6 日
○村上敏昭、小野寺一也、関公輔

１８．岩手県シルバーリハビリ体操 1 級指導者養成における現状と課題
－1 級養成課程の実習に着目して－
リハビリテーション・ケア合同研究大会　金沢 2019　石川県金沢市　2019 年 11 月 21～22 日
○佐藤英雄、渡辺幸太郎、村上敏昭、山崎麻友、照井恵利香、渡部祐介、高橋真由美、
八重樫一洋、大井清文

（作業療法科）

１９．食べる事への意欲が ADL 向上に繋がった症例
第 29 回東北作業療法学会　山形県山形市　2019 年 6 月 22 日～23 日
○山﨑瑞香、川畑智代、山本晶子

２０．上肢用ロボット型運動訓練装置を導入して上肢機能向上を図れた一症例
第 29 回東北作業療法学会　山形県山形市　2019 年 6 月 22 日～23 日
○村田あすか、浦沢さき、長山悦子

２１．いわてリハビリテーションセンターにおける自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査
Follow-up of Driving Resumption Support in Patients
第 53 回日本作業療法学会　福岡県福岡市　2019 年 9 月 6 日～8 日
○小笠原未久、石川侑利奈、大久保訓、阿部深雪、大井清文

２２．卒後 5 年以下の作業療法士を対象とした災害時リハビリテーション支援に関する意識調査
第 53 回日本作業療法学会　福岡県福岡市　2019 年 9 月 6 日～8 日
○渡部祐介、大久保訓、鷹觜悦子、大井清文

２３．自動車運転再開に向けて教習所の協力を得て実車評価した事例の追跡調査報告（第一報）
第 33 回岩手県作業療法学会　岩手県花巻市　2019 年 11 月 16 日
○大久保訓、小笠原未久、石川侑利奈、千葉聖矢、鷹觜悦子、阿部深雪、大井清文

２４．岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業おける平成 30 年度まで活動の拡がりと課題について
リハビリテーション・ケア合同研究大会　金沢 2019　2019 年 11 月 21 日～22 日
○照井恵利香、山崎麻友、渡部祐介、村上敏昭、渡辺幸太郎、佐藤英雄、高橋真由美、
八重樫一洋、大井清文

２５．教習所の協力を得て実車評価した事例の追跡調査報告
第 4 回日本安全運転・医療研究会　福井県福井市　2019 年 12 月 13～14 日
○大久保訓、千葉聖矢、石川侑利奈、小笠原未久、鷹觜悦子、阿部深雪、大井清文

２６．自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査（第二報）
第 4 回日本安全運転・医療研究会　福井県福井市　2019 年 12 月 13～14 日

○小笠原未久　藤原史帆　石川侑利奈　大久保訓　大井清文

２７．自動車運転再開支援を行った患者への追跡調査
～運転の際に注意している点と病前との運転の相違について～
第 33 回岩手県作業療法学会　岩手県花巻市　2019 年 11 月 16 日
○藤原史帆、小笠原未久、石川侑利奈、山本晶子、大久保訓、阿部深雪、大井清文

２８．岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の 5 年の経過　今後の展望と課題
第 33 回岩手県作業療法学会　岩手県花巻市　2019 年 11 月 16 日
○渡部祐介、小志戸前奈那、山崎麻友、照井恵利香、佐藤英雄、高橋真由美、八重樫一洋、大井清文

（言語聴覚療法科）

２９．三次元舌力測定器を用いたバイオフィードバック訓練のための基礎検討
第 19 回言語聴覚学会 富山県 2019 年 6 月 22 日～23 日
○阿部信之、外下育美、後藤理佳子、渡部小麦、高橋志帆、佐藤義朝、大井清文
岩手大学　大学院工学研究科　佐々木将瑛、佐々木誠

３０．軟口蓋振戦を伴う嚥下障害に頭・頸部屈曲位による直接訓練を継続し 3 食経口摂取となった脳出血後遺症の 1 例
第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会　新潟県新潟市　2019 年 9 月 6 日
○乳井亮輔、佐藤義朝、森潔史、大井清文

B　院内研究発表会
院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年２回実施している。

ア　第 51 回院内研究発表会　2019 年 9 月 4 日　17:30～18:30
１．頸髄損傷四肢麻痺者の社会参加向上に向けた取り組み　～自助具の作成を通して～
作業療法科　○吉田健
２．高次脳機能障がい者支援ツール「日々ノート」有効性についての一考察
臨床心理科　○吉田賢史、阿部深雪、八重樫一洋、上田大介、後藤敦博、村上敏昭
３．クリニカルラダーレベルⅡ以下の看護師が症例検討会を通して看護師の立場役割発揮できる体制の整備　～事前準備とリフレクションを促す取り組み～
看護部　○上斗米律子
４．リハビリ中に精神症状が出現し、フェリチンの減少を伴った神経疾患の 2 例
診療部　○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文

イ　第 52 回院内研究発表会　2020 年 3 月 25 日　17:30～18:30
《新型コロナウイルスの感染拡大に伴う院内措置として中止》

C　データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）
ア　データベースソフトの構築
イ　データーベース入力手順の取り決め及び運用
ウ　デーーベース入力（約 4846 症例）
エ　予後予測式の作成および精度の検討

D　動作解析装置運用に関して
動作解析装置の臨床応用を可能にし、より客観的なデータを示すことにより、リハ医療のエビデンスを構築する。そのために十分に器機やデータ分析の方法を理解する必要がある。
国際医療福祉大学大学院教授山本澄子先生を 3 回招聘し指導受ける。
(2019 年 6 月 5 日、9 月 2 日、12 月 6 日)
ア　機器の精度の検討
イ　測定法、データ分析の指導を受ける（片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析）
ウ　健常者、患者の動作計測
エ　学会等で発表
オ　センター職員への教育

Ｅ　研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

ア　第 46 回国際福祉機器展 2019 年 9 月 25 日～27 日　　東京
作業療法科　吉田　健

Ｆ　研究開発部センター内情報発信活動

ア　研究開発部マガジン（1 回／月、院内向け）No.310～322 発行
イ　これってな～に？？（1 回／月　院内向け）No.99～110 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
・ホームページの紹介
・リハニュース　福祉機器の紹介
・トピックス
・学会、研修会情報
・研究発表演題の紹介

Ｇ　研究活動の支援

ア　文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
イ　動画編集システムの管理、運営
ウ　統計処理のアドバイス
エ　統計勉強会

Ｈ　現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

ア　脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
イ　モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
ウ　四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
エ　ＣＩ療法に関する研究
オ　嚥下障害に関する基礎研究（ＶＦ検査も含む）
カ　福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
キ　脳卒中片麻痺患者の動作分析
ク　脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
コ　失語症者における聴覚機能に関する研究
サ　車いすシーティングにおける基礎的研究

Ｉ　その他

ア　いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
イ　先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
ウ　リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
エ　戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
オ　県立大学と共同研究　①失語症と聴覚機能の評価②失語症者向け自主練習用アプリの開発
カ　データベース構築に関するシステム開発